



# 共に暮らす命を 守り、育て、届ける



三間町  
曾我 栄作 さん

専門学校卒業後、実家の農業に就く。たくさんの牛たちに一頭一頭変わらぬ愛情を注ぎ続け、市内でも数少ない畜産農家として奮闘中。

三間町で畜産業を営む曾我さん。平成30年7月豪雨の日、実家を土石流が襲いました。仕事で使う牧草の収穫機などを置いていた倉庫も被害を受け、生活は一変しました。

発災当時一番苦労したことは、土砂を取り出す作業でした。埋まった1階部分を中心に、近所の人やボランティアの力を借りながらなんとかやりきりました。しかし、そのまま生活することが難しくリフォームを行う必要があったため、復旧は年末までかかりました。

自宅から離れた場所にある牛舎



土砂で埋まる機械と倉庫

も浸水しましたが、50頭以上いる牛たちは無事でした。ただ、断水で自分たちの生活に欠かせない水はもちろんです。牛たちの飲み水がありませんでした。そんな中でも水路の水をポンプで引き上げて牛たちに与え、なんとか牛たちを守ることができました。

曾我さんは、「地元で畜産農家は少ないけれど、これからも牛たちに変わらぬ愛情を注ぎ、皆さんに安心安全なものを届け続けたい」と力強く話してくれました。現在も多くの命を大切に育て、真心と共に皆さんに生乳を届けています。



多くの牛たちを大事に温かく見守ります